

秋葉区

11 2007.8.29

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp>

[/~hiro-line/nk9jo/index.htm](http://hiro-line/nk9jo/index.htm)

8月4日、「日本の青空」上映会

日本国憲法はわたしたちの宝だ

秋葉区「九条の会」と名称を変更してから初めての行事、映画「日本の青空」の上映会を8月4日（土）、新津視聴覚センターで実施しました。一人でも多くの市民の方々に「日本国憲法誕生の真相を知ってもらおう」という願いをこめて上映会の取り組みを進めました。

新潟祭りなどの大きな行事にぶつかりましたが、多くの市民の参加を得て初期の目標を達成することができました。新潟市教育委員会の後援を得たこともあって、公営の建物にポスターを張り出すことができました。また、薬科大学、キリスト教会などでも話し合いが進んだことも、今回の取り組みの収穫でした。

この映画の中で、幣原内閣が設けた「憲法問題調査委員会（松本烝治内相）」の「憲法改正要綱」と、憲法学者・鈴木安蔵等が提出した「憲法草案要綱」の二つが取り上げられました。この二つの案を比べてみましょう。

憲法改正要綱（松本烝治案）

第1条 日本国は君主国とす

第2条 天皇は君主にして此の憲法の条規により統治権を行ふ

第18条 日本臣民たるの要件は法律の定むる所に依る

松本烝治4原則

「わが国は君主国であり天皇は統治権を総攬するする根本原則には些かの変更もなく立憲君主主義を確立、国民の自由を保障すると共に議会の権限を強化し憲政の発達に一布石を与えんとするものである」

憲法草案要綱（鈴木安蔵等憲法研究会）

1、日本国ノ統治権ハ日本国民ヨリ発ス

2、天皇ハ国政ヲ親（シンセ）ラセズ、国政ノ一切ノ最高責任者ハ内閣トス

3、国民ハ法ノ前ニ平等ニシテ出生又ハ身分ニ基ク一切ノ差別ハ之ヲ廃止ス

4、国民ハ健康ニシテ文化的水準ノ生活ヲ営ム権利ヲ有ス

5、男女ハ公的並私的ニ完全ニ平等ノ権利ヲ有ス

古色蒼然たる松本案はGHQに拒否され、憲法研究会案が土台となって現憲法が生まれました。

九条の会よびかけ人の小田実さんが死去されました。心から哀悼の意を表します。

5月の連休明けから都内の病院に入院されていた九条の会呼びかけ人の小田実さんが、7月30日午前2時5分、胃がんのため亡くなりました。75歳でした。心から哀悼の意を表します。「九条の会」の運動の発展に力を注がれた小田さんの遺志をしっかりと受け継ぎ、悲しみを力に変え、いっそう頑張りたと思います。

小田さんは、すぐれた作家としての活動だけでなく、60年代からのベトナム戦争に反対する運動や95年の阪神・淡路大震災における被災者救援運動など平和運動・社会運動に携わり、2004年6月発足の「九条の会」の運動によびかけ人の1人として参加しました。

全国各地の九条の会が開いた集会などでも積極的に講演されました。そして、小田さんの提案で始まった「九条の会憲法セミナー」の第2回「静岡セミナー」（07年3月）で講師をつとめた後、体調の不調を訴え、末期がんであることが判明し、療養生活をおくっていました。

映画「日本の青空」の感想 特集

映画「日本の青空」を観ての感想を大勢の方からお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。多くの感銘をみんなで共有するために「感想特集」としました。

■ 「何も知らない者は、何も疑わない」これは先月の競書の文字。全くその通りだったと今更気付きました。民間人の草案が政府案に勝ったことは、国籍を超えた平和と民主主義への希いが勝ったのではないのでしょうか。

そして、そのお陰で、戦中派の私でも平和の中で60年余を過ごし、白昼堂々と反戦映画も鑑賞できます。憲法の大きな傘の下に守られてきたことがどれ程有難いことか、あの酷たらしい沖縄の映画（ほんの氷山の一角なのに）を見ても思い知らされました。

素晴らしい民間人が平和憲法の基を創ってくれた事を深く心に刻み、改憲ではなく憲法に盛られている崇高な精神の普及こそ必要ではないかと、鈴木安蔵氏の普及活動を引き継ぐことの大切さを痛感しております。

今、大きな力が、改憲の2文字をどんどん拡大しつつあります。参院選の結果もその意味では残念でした。平和呆けしている場合じゃないぞと自分に言い聞かせています。(60代 女性)

■ “九条を守る会”の会員ではないですが、署名活動をしております。今日は有難うございました。又、あらたな事柄が解り良かったです。これからも、ジャンルを問わず、平和活動なるもの、微力ながら続けていきたいと思えます。(不明)

■ 鈴木安蔵という名は知らなかったのととても良かった。日本国憲法は押しつけだというすべての人に見てほしい。ただ、ベアテ・ゴードンは「自分が書いたということを協議の場では、22才が書いたとっては反発受けるので、言わなかった」といっているのです、その点は少し？だった。(50代)

■ 政治家の人にももっとみてほしい。九条の真実がわい曲されていることがわかった。真実は1つであります。(50代 男性)

■ 祭りが重なったりした割に、夜まで多勢入っていて、少し安心しました。内容的には、戦後の経過などは、良く調べてあって参考になりました。(40代 男性)

■ 「剣を持つものはみな剣で滅びます」

マタイ 26 : 52

憲法9条は、将に永久平和の指標だと思います。この9条を憲法から外したら、平和の指標を失ってしまいます。この度「日本の青空」を見て、この指標がどのようにして条文となったかを見ることができ感動しました。一人の憲法学者の血みどろの闘いがあったのだと。また、その背後に、アジア2000万人、国内300万人の戦死者の無念が、しみこんだ条文であると思います。それ故、今生かされている私は、これを堅持し、内実あるものにする努力を重ねていかねばとつくづく思わされています。

憲法9条は、戦勝国の押し付けであると言う一方的な意見に迷わされることなく、日本は、被爆国としても、亦世界の平和の指標を掲げつつ、それを内実化することにより世界の平和の貢献する国として、仕えていくべきだと思っています。

是非、若者にこの条文の素晴らしさと、これを外されたら何が起こるのかを提示しながら社会改革に前進できたらと願っています。上映して下さった方々に感謝します。

(松永堡智)

■ 現憲法が日本人の手で創られていたことに誇りを感じました。大きな犠牲を払って9条を生んだのですから、何としても守っていくつもりです。(60代 女性)

■ 第九条は、絶対に守らなければいけない。この映画をもっと多くの人が観るべき。(60代 女性)

■ よくわかりました。(60代 女性)

■ 永遠の平和、世界にほこる9条、勉強になりました。(50代 男性)

■ 準備から上映、ごくろう様でした。とても学習できました。(40代 女性)

■ 鈴木氏、高野氏の話は初めてです。(60代 男性)

- すばらしい映画をありがとう。戦争に反対し、弾圧を受けた両親達の思いが痛いほど身にしみ、改めて九条の大切さ、守り続ける意志、広めていくことを痛感した。(70代)
- 真実を知るとは、とても大切な事だと思いました。若い世代の方には、ぜひ見て頂きたいと思います。(40代 女性)
- 改憲が政治スケジュールに上程される今日、改めて日本国憲法の掲げる理念の尊さに強い感動を覚えました。今日の日本国憲法が単にGHQによる押しつけではなく、鈴木安蔵を中心とした憲法研究会の私案が大きく関わっていることをもっと多くの人々に知ってもらい、憲法の一文字一句の重みに改めて命を吹き込んでゆかなければと思います。(30代 男性)
- 憲法9条を守り、戦争をしない国でいられるように、一人でも多くの人に知らせる活動を広めてください。(50代 女性)
- 私には、勉強不足で、むずかしかったですが、私の両親は戦争体験者で子供の頃良く話を聞かされました。戦争は反対です。それだけは言えます。(40代 女性)
- 平和憲法の成り立ちがよくわかり、感動しました。九条がどんなに議論されてでき、今世界にはほこれるものだと、確信しました。(40代)
- おもしろかったです。知らないことばかりで、おどろきました。ぜったい憲法をかえたくないです！(20代 女性)
- すばらしい映画で、本当に感動しました。もっと大勢の人に視てもらいたいものです。憲法の勇気をまた、与えられました。(70代 男性)
- 憲法制定事情がよくわかって良かった。9条を大切にしたい。(60代 男性)
- 意外に根強い「押しつけ」論への反論として、非常に良い作品でした。憲法研究会の草案も始めて耳にしましたが、生存権などすぐれた先見性もあるんですね。何よりも「いやしくも消費税を偏重して国民に過重の負担を負わしむるを禁ず」は、今のご時世にぴったりです！それにしても、天皇制を残したために軍国主義者が復活するかもしれないという高野の一言。今の私たちが問われています。(30代 男性)
- 憲法九条の事も関心がなかったのですが、教会(キリスト教)の牧師より「ぜひ見た方が良いでしょう」と勧められてまいりました。この時代に生かされている者として、子や孫たちに何を伝えていけばと日々考えているところです。大切なことをしっかり伝えて行くためにとても良い機会となりました。心より感謝申し上げます。(60代 女性)
- とても理解を深めることが出来ました。多くの人に観て頂きたいです。子どもや知人にも伝えたいです。(50代 女性)
- 大変よかったです。もっと若い人にも観てほしいです。DVDとかで売り出してほしいです。アメリカによって、又、9条が改正させられようとしている矛盾を感じます。(60代 女性)
- 日本国憲法は、押しつけ憲法なんかじゃない。日本人の・・・、世界の全人類の願いでできた宝物なんだ。主人公鈴木安蔵が憲法公布のシーンで喜んだ姿で、それを確信しました。悲惨な歴史を経験した人類が力をあわせてつくった日本国憲法。ぜったい守りぬきたい！(20代 女性)
- 見てよかった。一般映画館で上映出来るといい。(不明)
- 大変よかったです。職場で学習した『新けんぼう』の本をおもいだします。(50代 女性)



つまり、九条の会って「平和が大好き♡戦争なんておもしろくない♡って人の集まりです。



■ 現憲法が日本の民権運動と国際的な人権思想および、運動を背景にした憲法であるということ、また、民主的知識人鈴木氏らの執念のたたかひがあった事をリアルに描いていたことに感動しました。現在の情勢下でも9条はますます輝きを増す。9条があるからこそ、平和外交を展開できると思う。日本政府は「押しつけ」「古い」などと言わず、この憲法を生かした政治をすべきです。(50代 男性)

■ すごい映画です。もっと小さい「9条の会」でも見られるようにDVD化できないかと思えます。もっともっと広めたい。(60代 女性)

■ 益々現憲法が誇れるものになった。(70代)

■ 映画の題名の如くまさに「日本の青空」でした。憲法九条の大切さを痛感しました。日本の女性が参政権を得て、本当によかったと思えました。(70代 女性)

■ とても良い作品でした。家族にも見せたいと思えました。(60代 男性)

■ GHQの押しつけのものとはばかり思っていましたのに、ほんとうに勉強になりました。どうしてこれほどの憲法を、どうして改めようとする運動があるのか理解できません。絶対に反対していきます。ごくろうさまでした。(60代 男性)

■ とてもとても良かったので、ビデオなりDVDなりにしてもらえたら、とてもうれしいです。(60代 女性)

■ 「九条の会」の皆様、大変良い映画をありがとうございました。友人に九条を守る人は多くいますが、この映画で、その必要性を、また、理解出来ました。(60代)

■ この問題は非常に興味を持っています。たいへんわかりやすく良かったです。改めて九条を守らなければいけないと強く思いました。(40代 男性)

■ 憲法9条改正という政府の動きに反対します。戦争を再び繰り返さないために、日本国民は、政府の行動を見守りコントロールされないように、賢くならなければならないと思います。すばらしい映画を製作して下さった方々に感謝致します。世界に平和がありますように。

(40代 女性)

■ 憲法研究会に参加した人たちの理念とその先見性に感服しました。「天皇制を残せば、軍国主義者が復活する」「租税の賦課は公正に、いやしくも消費税の過重負担を禁ずる」など。60年後の今に生きる理念と先見性、どうすれば身につくのか?・・・。子や孫に「平和で、明るい民主的な社会」を! 今、私たちに求められています。頑張らねばと・・・。

(60代 男性)

「日本の青空」製作委員会からのアピール

これまで、多くの方々にご協力をいただき、おかげさまで、映画はようやく完成しました。しかし、映画「日本の青空」の製作費は2億円。2007年2月28日現在で、集まっているのは、製作協力券の1300口(1億3000万円)です。映画は出来上がっても、資金不足で、たくさんの支払いがまだ出来ていない状況です。どうか、みなさん、ご支援をお願いいたします。

「製作協力券のお申し込みは〆切りでしたが、カンパは引き続き受け付けておりますので宜しくお願いします。」

上記の要請に応じて、上映協力券の協力金・カンパから5万円を「日本の青空」製作委員会に募金することにしました。多くのみなさまの上映協力に対しまして、あらためてお礼を申し上げます。 秋葉区九条の会 事務局

「九条の会」の会員を増やしてください!

今回の上映で8名の方が新しく加入しました。「憲法9条を守りたい」「平和な日本を守りたい」と願っている人なら誰でも入会できます。入会費は200円です。お知り合いの方を誘ってください。

憲法9条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を
誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、
武力による威嚇又は武力の行使は、
国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、
陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。
国の交戦権は、これを認めない。



きっかあ♪
憲法9条守れば
せかいじゅう
平和だやっ☺

